

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

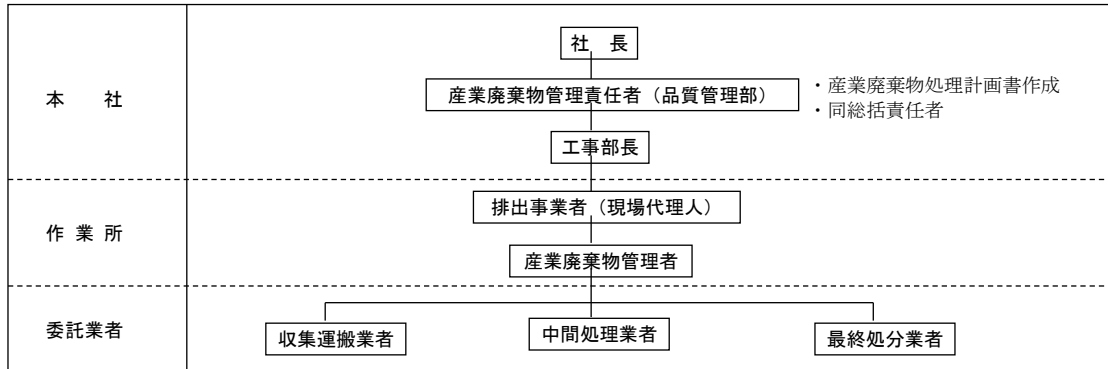
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和 4年 5月17日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者		
住所 静岡県三島市谷田60番地の3		
氏名 小野建設株式会社 代表取締役 小野 大和		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 055-971-2020		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	小野建設株式会社	
事業場の所在地	静岡県三島市谷田60番地の3	
計画期間	令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	総合工事業	
② 事業の規模	¥4,069,150,000	
③ 従業員数		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>産業廃棄物処理計画書作成部署は品質管理部で作成をする。 産業廃棄総括責任者産業廃棄物管理責任者とする。 別紙、委託処理フロー参照</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">作業所 (新築・解体・改修等建設工事)</p> <p style="text-align: center;">産業廃棄物 → 作業所内分別 → 収集・運搬・処理業者 (建設廃棄物委託契約書締結)</p> </div> <p style="text-align: right;">→ 再生処理業者 →</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パルプ、紙原料</li> <li>・木材チップ</li> <li>・有価物として売却</li> <li>・再生砕石</li> </ul>	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 3 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のおり	
	排出量	18,322.678	t
	(これまでに実施した取組) ・ムリ、ムダ、ムラをなくし、手直し作業の減少を図る。 ・廃棄物の発生の抑制、再利用、再生利用を促進する。 ・省資源、省エネルギー活動に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	8000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の抑制活動を維持しながら、各作業所における産業廃棄物の分別を徹底し、再生資源化及びリサイクル活動の強化すると共に、材料等搬入時の過剰包装の防止、木材・ボード類のプレカット搬入を図り排出量の抑制に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄処分する物と再生利用する物の分別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所における分別を強化し、再生資源化、リサイクル活動に努め有価物として売却できるものは売却処理とする。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量	18322.678 t	t	
	優良認定処理業者への処理委託量	1764.791	t	
		再生利用業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(これまでに実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定産業廃棄物処理業者の現地確認</li> <li>・委託契約書の適切な締結</li> <li>・委託先から情報を収集し、「建設廃棄物処理計画書」「再生資源利用計画書」「利用促進計画書」の作成</li> <li>・「マニフェスト」（産業廃棄物管理票）確実に発行し、処理を委託する</li> <li>・上記確認、作成、発行書類等の保管管理</li> <li>・今年度は、本工事に伴う森林伐採、地盤改良、既存構造物の解体に因る廃棄物が多く受注工事の工種に因るところが大きい。</li> </ul>				

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	8000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	400 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も優良認定処理業者・認定処理業者の現地確認を継続すると共に適切な処理を行い発注者、排出事業主、処理業者との協働で廃棄物の低減に努めて行きます。</p> <p>然しながら、請負側は工事を選別出来ない、受注した工事により排出量は大きく左右されるとも考えます。</p>		
※事務処理欄			

# 産業廃棄物の一連の処理の工程

## 1. 産業廃棄物委託処理フロー ( \* 特別管理産業廃棄物の委託処理に関するフローは次項に定める )

本 社	排出事業所 (作業所)	実 施 内 容
副産物総括責任者	排出事業者   産業廃棄物管理者	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">処理マニュアルの作成・管理</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">産業廃棄物管理者の選任</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>当該工事の担当者から、「産業廃棄物管理者」を選任する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">処理委託先の実地確認・調査</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物処理の委託先の実地確認を行い、その記録を作成し、管理責任者に提出する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">廃棄物処理計画書等の作成</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>処理委託先から情報を収集し、「建設廃棄物処理計画書」「再生資源利用計画書・利用促進計画書」を作成する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">委託契約の締結</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「建設廃棄物処理委託契約書」は建設廃棄物処理要領-様式-2-1、2を用いて、記載例及び説明に基づき作成する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><b>【 契約に際しての注意事項 】</b></p> <p>①収集運搬と処分はそれぞれ契約する。但し、両方の許可を持つ業者との契約では、1部の契約書で併用ができる。</p> <p>②廃棄物の発生場所と処理する場所が異なる都道府県となる場合は、それぞれの収集運搬業の許可が必要となる。</p> <p>③収集運搬業者との契約書には、「産業廃棄物収集運搬業許可証」の写し、現場から処分場の「道順図」を添付する。</p> <p>④処分業者との契約書には、「産業廃棄物処分業許可証」の写し、処分場の許可看板及び処理内容・能力を確認できる写真を添付する。</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">処 理 委 託</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「マニフェスト」(産業廃棄物管理票)を発行し、処理を委託する。(マニフェスト運用フロー参照)</li> <li>最終処分に至るまでの方法を把握する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">処理実績の報告</div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※処理委託先の中間処理後の最終処分(再生を含む)場所(予定)等を把握確認をする</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>工事完了後、「廃棄物処理委託契約書」「再生資源利用実施書・利用促進実施書」、マニフェストは産業廃棄物管理責任者に提出する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">記録の保管</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">多量排出事業者報告</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物管理責任者は、廃棄物処理の記録を5年間保存する。又、当社が多量排出事業者に該当する場合は、毎6月に法定報告を行う。</li> </ul>

## 産業廃棄物の一連の処理の工程

### 2. 特別管理産業廃棄物処理フロー

特別管理産業廃棄物処理業者 処分業者   収集運搬業者	排出事業者	県知事 又は 政令市長	実 施 内 容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">管理責任者の設置</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>“特別管理産業廃棄物管理責任者”（厚生労働省認定講習修了者で、下請負業者でもよい）を選任する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">管理責任者の報告</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>設置した日から30日以内に報告する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">事前通知</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>あらかじめ廃棄物の種類、数量性状、荷姿、取扱い注意事項等を文書で通知する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">処理業者への委託</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>収集運搬と処分について、それぞれ“特別管理産業廃棄物の許可業者”（通常の産業廃棄物処理業者は不可）と委託契約する。</li> <li>最終処分に至るまでの方法を把握する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">マニフェストの発行・運用</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>マニフェスト用紙及び運用方法は、通常のマニフェストの運用に準ずる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">未回収報告書</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>処分業者より60日以内にマニフェストが返送されない場合は、“産業廃棄物管理票未回収報告書”を県知事に提出する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">処理実績記録の保管</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>最終処分の終了を確認した、作業所は、マニフェストを集計し、品質管理部に提出する。</li> <li>品質管理部は、5年間保存する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">処理実績報告書の提出</div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>品質管理部は、毎年6月30日までに、その年の3月31日以前1年間の処理実績を“特別管理産業廃棄物処理実績報告書”にまとめ県知事に報告する。</li> </ul>

# 産業廃棄物の一連の処理の工程

## 3. マニフェスト運用フロー

排出事業所	収集運搬業者	中間処理業者 処分受託者   処分委託者	収集運搬業者	最終処分業者	実施内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">一次マニフェストの運用</div>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物引渡し時に、マニフェストを作成し、運搬業者の確認を受け、A票を保存し、残り6枚を交付する。</li> <li>・ 運搬終了後、処分業者にマニフェストの確認を受け、B1票を保存し、B2票を排出事業所に送付する。</li> <li>・ C1、C2、D、E票を中間処理業者に回付する。</li> <li>・ 運搬終了票としてB2票を確認し保存する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">マニフェスト作成 (A保存)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">二次マニフェストの運用</div>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処分終了後、C1票を保存し、C2票は収集運搬業者に、D、E票は排出事業所に送付する。</li> <li>・ 但し、最終処分が必要となる場合はE票を保留し、自らが処分委託者(排出事業者)として新たにマニフェストを作成して交付する。</li> <li>・ 処分終了票として、C2票を確認し保存する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(B1、B2、C1、C2、D、E交付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">運搬 (B1保存)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(B2送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">B2 保存</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(C1、C2、D、E回付)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(D、E送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">処分 (C1保存)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;">最終処分が必要となる場合</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(C2送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">一次E票保留</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">マニフェスト作成 (A保存)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(B1、B2、C1、C2、D、E交付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">運搬 (B1保存)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(B2送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">B2 保存</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(C1、C2、D、E回付)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(D、E送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">処分 (C1保存)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(C2送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">C2 保存</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(一次E票送付)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">最終処分確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">D、E 保存</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">D、E票保存及び工事完成後、品質管理部へ提出</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">品質管理部で保管 (5年)</div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【注】マニフェスト交付者は、交付後D票は90日以内、E票は180日以内に戻らないときは、必要な調査を行い「産業廃棄物未回収報告書」を県知事又は政令市長に報告しなければならない。</p> </div>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【注】運搬及び処分の受託者は委託者に対し、その行為が終了したときから10日以内に、関係するマニフェストを送付しなければならない。</p> </div>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終処分業者から二次マニフェストE票を受領し、確認してから、一次マニフェストE票を排出事業所に返送する。</li> <li>・ A、B2、D、E票は、工事中は作業所で保存し、工事完成後品質管理部に提出する。品質管理部は5年間保管する。</li> </ul>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次マニフェストの運用の繰返し</li> </ul>					



産業廃棄物処理計画書（別添資料）

項目  産廃の種類		産業廃棄物の排出の抑制		自ら行う産業廃棄物の再生利用		自ら行う産業廃棄物の中間処理		自ら行う産業廃棄物の埋立処分・海洋投入処分		産業廃棄物の処理の委託									
										現状（R03年度）					計画（R04年度）				
		現状（R03）	計画（R04）	現状（R03）	計画（R04）	現状（R03）	計画（R04）	現状（R03）	計画（R04）	全処理委託量	優良認定処理業者への委託量	再生利用業者への委託量	認定熱回収業者への委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	全処理委託量	優良認定処理業者への委託量	再生利用業者への委託量	認定熱回収業者への委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量
廃棄物の種類	分類コード																		
汚泥（泥状のもの）	0200000～0222000	6.160	2.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6.160	0.000	0.000	0.000	0.000	2.000	2.000	0.000	0.000	0.000
廃プラスチック類	0600000～0607000	14.945	50.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	14.945	0.630	0.000	0.000	0.000	50.000	10.000	0.000	0.000	0.000
紙くず	0700000～0711000	1.350	2.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1.350	0.000	0.000	0.000	0.000	2.000	2.000	0.000	0.000	0.000
木くず	0800000～0811000	1622.505	1200.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1622.505	846.915	0.000	0.000	0.000	1200.000	100.000	0.000	0.000	0.000
繊維くず（天然繊維くず）	0900000～0910000	4.236	1.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	4.236	3.876	0.000	0.000	0.000	1.000	1.000	0.000	0.000	0.000
金属くず	1200000～1222000	81.806	15.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	81.806	78.066	0.000	0.000	0.000	15.000	10.000	0.000	0.000	0.000
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300000～1323000	97.620	100.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	97.620	86.590	0.000	0.000	0.000	100.000	50.000	0.000	0.000	0.000
がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）	1500000～1502000	16390.086	6500.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	16390.086	660.504	0.000	0.000	0.000	6500.000	125.000	0.000	0.000	0.000
建設混合廃棄物	2000000～3600000	103.970	130.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	103.970	88.210	0.000	0.000	0.000	130.000	100.000	0.000	0.000	0.000
合計		18322.678	8000.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	18322.678	1764.791	0.000	0.000	0.000	8000.000	400.000	0.000	0.000	0.000